

基本方針1-1. 「計画的に調査・研究を進め、成果を共有する」に基づく措置														
課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考
					主管課	大学	団体	市民	前期 (3年)	後期 (2年)	次期 計画			
未把握の文化財に関する調査の推進	1	新規	文化財に関する計画的な把握調査の実施と体制づくり	調査が充分進んでいない類型の文化財に対する調査を、大学等研究機関や市民、活動団体と協働して進めると共に、持続的な調査に実施できる体制をつくる。	文化財保護課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金		
調査成果が活用しやすい環境づくり	2	新規	調査成果の保存・管理等の推進	これまでの調査結果の保存・管理を進めるため、調査成果の整理、デジタル化などを進める。	文化財保護課	●					○	国庫補助金		
基本方針1-2. 「保護の対象を広げ、適切な管理のための環境を整える」に基づく措置														
課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考
					主管課	大学	団体	市民	前期 (3年)	後期 (2年)	次期 計画			
文化財保護法や条例に基づく着実な文化財の保護	3	継続	文化財指定等の推進	未指定文化財のうち重要なものについて、文化財保護法や条例に基づく新規文化財指定に向けた取り組みを推進する。	文化財保護課				○	○	○	市費	京丹後市文化財保護条例	
	4	新規	「(仮称)京丹後市登録文化財制度」の創設の検討	市民の身近な文化財を市登録文化財として認定することにより、保存活用を進めるための新しい制度の創設を検討する。	文化財保護課				○	○	○	市費	京丹後市文化財保護条例	
文化財の保存に係る財源の確保	5	新規	「(仮称)京丹後市文化財保護基金」の設立の検討	安定的に文化財の保存に関する財源を確保するため、ふるさと応援基金等を活用し、基金の設立を検討する。	文化財保護課 ふるさと応援推進室				○	○	○	市費、外部資金		
指定等文化財の適切な修理・保全	6	新規	市指定文化財等補助金	貴重な文化財を後世に残すために、所有者が行う指定文化財等の修理や保全に係る事業に対して補助金を交付する。	文化財保護課				○	○	○	市費	京丹後市指定文化財等補助金交付要綱	
適切な保存・管理のための資料内容の整理、市内資料館の機能の充実	7	継続	収蔵品目録の整備と収蔵施設の集約	資料館等の収蔵品目録の整備を行うとともに、分散収蔵となっている資料館に収蔵しきれない資料(民俗資料、考古資料、古文書)の集約をはかる。また、各区での保管が難しくなった資料を将来的に収集・収蔵することを想定し、収蔵施設の確保・拡張を検討する。	文化財保護課				○	○	○	国庫補助金		
基本方針1-3. 「魅力を発信し、多様な分野と連携して活用する」に基づく措置														
課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考
					主管課	大学	団体	市民	前期 (3年)	後期 (2年)	次期 計画			
多様な媒体を活用した情報発信	8	継続	広報、ケーブルテレビでの文化財の紹介	市広報、京丹後市ケーブルテレビを活用し、京丹後市文化財保存活用地域計画に示した京丹後市の歴史文化の特徴を紹介する。	文化財保護課、秘書 広報広聴課、デジタル戦略課				○	○	○	市費		
	9	継続	特別展示や企画展示の開催	市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々への普及啓発を図る。	文化財保護課				○	○	○	市費		
	10	新規	「京丹後市歴史文化物語」の発信	京丹後市文化財保存活用地域計画に示した京丹後市の歴史文化の特徴を紹介するパンフレット(一般向け)を作成し、市HP等で紹介する。	文化財保護課			●	○	○	○	国庫補助金		
	11	継続	デジタルミュージアムによる文化財・調査成果の発信	京丹後市ホームページのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、文化財、調査成果について発信する。	文化財保護課				○	○	○	国庫補助金		
	12	新規	文化財活用実践セミナーの開催	市民が文化財の活用に取り組みたいと思うきっかけとなるような実践的なセミナーを定期的に開催する。	文化財保護課		●					○	国庫補助金	
文化財の観光活用に向けた整備の推進	13	新規	文化財に関連するニューツーリズムの推進	多様な主体が連携して、「フードツーリズム」、「ジオツーリズム」、「産業ツーリズム」、「伝統・伝承ツーリズム」、「ヘルスツーリズム」、「エコツーリズム」、「史跡ツーリズム」を推進する。	観光振興課、健康推進課、生涯学習課、 商工振興課、 長寿福祉課、 農業振興課、 海業振興課、 文化財保護課	●	●	●	○	○	○	市費、 府補助金、 国庫補助金		
	14	新規	文化財のユニバーサルデザイン化の推進	より多くの人が文化財を身近に感じることができるよう、文化財のバリアフリー化や、ユニバーサルデザイン化を推進する。	観光振興課、 文化財保護課		●	●				○	国庫補助金	
本市の多様な自然や歴史文化を活かした「教育旅行」の誘致推進	15	新規	文化財をテーマとした教育旅行の推進	本市の自然、歴史、文化、伝統、産業、環境を教育目的に据えた「教育旅行」の誘致を推進する。	観光振興課、 商工振興課、 生活環境課、 文化財保護課		●	●	○	○		市費		

基本方針1-4. 「普及啓発の推進により、歴史文化の担い手を育てる」に基づく措置															
課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	
					主管課	大学	団体	市民	前期 (3年)	後期 (2年)	次期 計画				
若年層を中心とした市民の興味関心の向上	16	継続	「丹後学」と連携した歴史文化学習	保幼小中一貫教育で実施される「丹後学」のモデルカリキュラムに、京丹後市文化財保存活用地域計画に示した京丹後市の歴史文化の特徴を学ぶ機会を位置づけ、児童生徒の郷土愛の育成につなげる。	学校教育課、市内保・幼・小・中学校、文化財保護課				○	○	○	市費			
	17	継続	社会科副読本による歴史文化学習	本市の歴史文化を分かりやすく解説する社会科副読本（小学生向け・中学生向け）を作成するとともに、副読本の中で京丹後市文化財保存活用地域計画に示した歴史文化の特徴を紹介する。	学校教育課・文化財保護課				○	○	○	市費			
	18	継続	文化財セミナー等の開催	文化財セミナーや文化財の見学等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実させる。	文化財保護課				○	○	○	市費			
地域の歴史文化を語れる人材、読み解ける人材の育成	19	継続	「（仮称）地域史料講座」「（仮称）ガイド養成講座」の実施と人材育成	「京丹後史博士」育成講座を改編し、石造物や民俗行事などの地域史料を読み解ける人材の育成を進める。またガイド団体と連携し、ガイドなどの人材育成をはかる講座を実施する。	文化財保護課			●	○	○	○	市費			
	20	継続	歴史文化の魅力を普及・発信する人材育成	「山陰海岸ジオパーク」のほか、本市の自然、歴史、文化、伝統、産業、環境を発信できる人材の育成を推進する。	生活環境課、農業振興課、観光振興課、文化財保護課		●	●			○	市費	京丹後市観光振興計画（予定）		
	21	新規	歴史文化を活かしたコンテンツプロデュースする人材の育成	市内の様々な文化財をコンテンツとしてプロデュースできる人材を育成する。	文化財保護課			●	●			○	国庫補助金		
基本方針1-5. 「持続的に文化財を継承する体制を検討する」に基づく措置															
課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	
					主管課	大学	団体	市民	前期 (3年)	後期 (2年)	次期 計画				
京丹後市の庁内連携、活動団体間の連携の強化	22	継続	文化財保存活用地域計画推進協議会の設置・運営	文化財保存活用地域計画を地域総がかりにより着実に推進するため、策定協議会を推進協議会へ発展・設置し、運営する。	文化財保護課				○	○	○	市費		進捗管理と、今後の計画更新のために必要な措置	
各区の歴史文化の着実な継承に向けた体制づくり	23	新規	「（仮称）京丹後市市民遺産会議」の発足	多様な市民が文化財の保存・活用に参加できるよう「（仮称）京丹後市市民遺産会議」を発足させると共に、同会議の活動により、文化財保存活用地域計画の周知をはかる。	文化財保護課			●	●	○	○	○	市費		
	24	新規	「地域コミュニティ組織」との連携	祭礼行事の継続や身近な文化財を地域活性化につなげるため、現在進められている「地域コミュニティ組織」との連携を強化する。	地域コミュニティ推進課、文化財保護課			●	●	○	○	○	市費		
他地域・他機関と連携した歴史文化を活かしたまちづくりの展開	25	継続	京都府文化財保護指導委員による巡視	文化財の保存・管理、普及啓発のため京都府文化財保護指導委員による巡視の支援を行う。	文化財保護課				○	○	○	府費	京都府文化財保護条例		
	26	継続	海の京都DMOによる「海の京都観光圏」の取組推進	日本遺産など北部7市町に点在する文化財を周遊する文化観光の強化を推進する。	観光振興課			●		○	○	○	市費	京丹後市観光振興計画（予定）	
	27	継続	豊岡DMOその他広域観光団体との連携	関係府県市町等との連携による広域的な文化観光を推進する。	観光振興課			●				○	市費	京丹後市観光振興計画（予定）	
防災・防犯に関する措置															
課題	番号		事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	
					主管課	大学	団体	市民	前期 (3年)	後期 (2年)	次期 計画				
文化財の災害予防対策・防犯対策の拡充	防-1	継続	防災・防犯設備の設置	未設置の文化財について、防災・防犯設備を設置を支援する。	文化財保護課 消防本部予防課			●		○	○	○	一部に府補助、市補助		
	防-2	新規	既設の防災・防犯設備の定期的な点検	文化財所有者が設置した既設の防災・防犯設備について定期的な点検実施を進める。	消防本部予防課、文化財保護課			●		○	○	○	一部に府補助、市補助		
	防-3	継続	「文化財防火運動」の実施	1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、文化財防火運動の期間を設定し、文化財防火訓練および文化財所有者への立入検査（文化財防火査察）を実施する。また文化財所有者への周知と協力依頼、報道機関への情報提供、市広報、防災行政無線、HP等の活用による啓発を行う。	消防本部予防課、文化財保護課			●	●	○	○	○	市費		
災害発生時の対応の明確化	防-4	新規	文化財避難計画の作成	文化財所有者の火災・災害時の文化財の搬出ルート、連絡体制などを示した文化財避難計画作成を進める。また、未作成の文化財について、文化財所在カードの作成を進める。	文化財保護課、消防本部予防課、総務課			●			○	○	市費	総務課未確認	
	防-5	新規	文化財災害対応マニュアルの作成	文化財所有者の災害発生時の行動計画を示したマニュアル（危機管理マニュアル）作成を進める。	文化財保護課、消防本部予防課、総務課			●			○	○	市費	総務課未確認	
日常的な防犯パトロールの導入	防-6	新規	文化財パトロールの実施	文化財をパトロールすることによって状況を確認し、盗難等の被害を確認した場合は速やかに関係機関に届けるなど地区単位で文化財防犯の取り組みを進める。	文化財保護課、総務課			●			○	○	市費		